



# 君津商工会議所 FAX通信

会員の皆様へ…会頭からのメッセージ  
平成28年8月10日(水)

Vol.333

亀岩の洞窟の裏話～聞きかじり～

秋元 秀夫

今日各テレビ局が千葉県君津市の「亀岩の洞窟・濃溝の滝」を日本一の新名所と放映されていますと友人達から電話を頂きました。

この仕掛け人の1人伊原弘實氏と出逢ったのは平成14年、私が会頭になってから間もなく経ったと思いますが正確に覚えてはおりません。

亀山へは度々招かれることも多く、加藤健吉議員からは亀山での挨拶には必ず提案を一つ入れようとご注文を頂き、その内の一つに観光は神社仏閣に多く集まるので、吊鐘と青銅の観音像を寄付しますと申し上げた記憶があり、観音像は宗教物だからと土地所有者の県から許可が得られず吊鐘は鈴木市長の命名で「幸運の鐘」となり建立されたのであります。伊原氏は既に平成元年の頃から従弟の本吉和彦さんを誘って亀山の亀は昔から長寿幸運を与えてくれると言うから今の木道橋の入り口に大きな岩があったので亀の像を彫ろうと話し合ったが折悪しくバブル崩壊となり頓挫。その時画いたイラストが今の「亀の子せんべい」の刻印として残ったものです。やがて平成13年片倉ダムが完成するに及んで再び同級生を中心に20名余りで「亀友会」が結成され、先ずイメージ作りに愛称を亀山中学校へお願いして小川先生と生徒の糟谷さんの提案された「ハートル(雄)ハータス(雌)」とロゴマーク

は決まったが、亀友会の共同事業としては残念ながら進めることは出来なかったが、伊原さんは「亀運」を信じて「カーテンネル(通称:川田トンネル)」へ通ううちにこの洞窟に亀岩があることを発見し、平成18年斉藤敦観光課長と出逢い斉藤課長も大変共鳴され、発見した亀岩が将来何かを与えてくれる予感を感じさせてくれたので、伊原氏は毎日朝昼夕と時間を変えて1日3回カメラで撮り続けたのでさすがの奥さんも「いい加減にしなさい!あなたは狂っている!」と何度も叱られたと聞いております。そして洞窟から朝の光が差し込み、川面から蒸気が立ち上り、左側の壁にハートの半分が画かれ、鏡の様な川面にハートの半分として映る瞬間、一つのハートとなるのですと伊原氏はその秘密を教えてくださいました。

こうしてとった写真を駐車場のトイレいっぱいには張って、洞窟の亀岩の写真を見て信用してもらったのでした。

地元の人々が永年気付く事の無かった神秘的な聖地(ジブリ)の美しさに驚かされた人々が日本中から土日祭日には1万人を超え、今年は7月までバス凡そ200台この後年内凡そ200台のバスの予約、駐車場に追われておりますとの事でした。(君津市では土日祭日のみシャトルバスを運行して頂いております。)

伊原氏の仲間達は「亀の子会8名」で再結成され伊原さんを中心に更に次への展開を始めております。

私も毎年除夜の幸運の鐘をつきに参ります。皆様も是非お出かけください。もう一つのエピソードは、坂田焼き物小屋の会員達が夏休みに親子陶芸教室を聞いて、たくさんの亀を作ってテレビで放映された応援もありました。

伊原氏の奥さんその友人、隣組の方達の日頃の環境整備、接待等の裏方のご苦勞に改めて敬意と感謝を申し上げます。(※濃溝の滝はもう少し下流であります。)

追伸…7日(日)の君津市民ふれあい祭り大変お疲れ様でした。